

世田谷村日記

石山修武

九月二十四日

ひろしまハウス、ヘレン・ケラー記念塔、星の子愛児園、ツリ
ーハウス、国連プロジェクト、富士嶺観音堂、西早稲田観音寺、
マザー・テレサ死を待つ人の家。今日、午後の設計製図レクチャ
ーの素材である。自分なりに筋道は明快に立っていると思うのだ
が、学生に通じるかは不明。でも、これは伝えなくてはならない。
十八時半終了。スタッフと打ち合わせ終え二十二時半世田谷に戻
る。

九月二十五日 日曜日

終日沈没して、読書。体力は欲しくないが、気力は欲しい。し
かしどうやら、二つは結び付いているらしい。そんな俗論にも真
がある。

九月二十六日

六時起床。新聞読んで、一人で食事して、七時前出る。新大久
保駅で渡辺と出喰わす。朝早いミーティングもたまには良いと思
って早出を試みた。犬を連れ甲州屋の面々にも途中会った。皆、
色々工夫して生きてるナア。八時より北京ミーティング。

九時半ミーティング修了、作業に入る。プロジェクトの骨子を
ビルボードとして表現する方法に取り組む。今夜李祖原来日する
予定なので、出来れば議論したい。早く、この状態から離陸した
いが、仲々助走状態から脱するのが難しい。ファイナルの工程表

さえ明示されれば突き進むのだが、北京は近いようで遠い。マツ
ダ店舗開発機構野口社長と連絡。ロシアの件。自動車会社の世界
戦略はデカイ。これも又、簡単には動かぬ。

九月二十七日

九時再会した李祖原と打合わせ。北京の件他。十一時半打ち切
り、Sさんの待合わせの場所へ。十二時過発。軽井沢の現場へ。
十五時前、軽井沢着。現場で打合せ。十七時過発。棟梁が良い
仕事してくれた。軽井沢で夕食をこちそうになり、帰京。練馬
で別れ大江戸線、京王線を乗り継ぎ、二十二時半頃世田谷村に戻
る。

九月二十八日

午前中から十九時前まで、李祖原と七時間ぶつつづけてミーテ
ィング。北京Pその他。その間に気仙沼の昆野武裕氏、ワイマー
ルのコーネリア、ピーター来室。十九時過新宿でフィンランドの
件打合せ。

今日は一日中ほとんどCY・Leeと議論していたので充実し
た一日だったが疲れた。北京のMr.Kとも話した。彼とも長い付き
合いになるのだろうか。